報告（4）

沖縄子どもの未来県民会議
令和元年度第2回理事会

令和元年度の事業実施状況について

令和元年度事業の実施状況について

1 子ども未来支援事業　（予算額 47,246千円／執行額 25,839千円　※振込手数料除く　）

⑴ 子どもに寄り添う給付型奨学金事業（執行額 14,395千円）

①　課題

児童養護施設等出身者の大学等進学率は30.8%（H27年度）となっており、一般的な生徒の大学等進学率45%まで段階的に引き上げ、貧困の連鎖を断ち切る。

②　事業概要

児童養護施設等を退所する者、里親等の委託措置を解除される者を対象に、大学や専門学校等の進学にかかる入学金・授業料の全額を奨学金として給付する（返済不要）。

応募者全員を給付決定！
H28：9名、 H29：18名
H30：13名　R1：22名

⑵高校生等に対する通学費負担軽減（モノレール社が負担）（執行額：142千円）

①　課題

高等学校等への通学費は、月５千円以上の世帯が32.3%と、経済的負担となっている。また、通学費軽減のためマイカー送迎を行う保護者も多く負担となっている。

②　事業概要

沖縄都市モノレール（株）の協力により、低所得世帯で沖縄県内の高等学校等に在学する高校生等の通学に係る交通費（モノレール運賃）を割引する（通常運賃の約半額）。

通年で約270名の高校生が利用

⑶ 子ども未来ジョイントプロジェクト助成事業　（執行額 11,239千円）

①　課題

県民会議の構成団体においては、それぞれ子どもの貧困解消の取組を行っているが単独の組織だけだと取組が限定的である。

②　事業概要

構成団体がつながり協働して、子どもの貧困解消を目的に実施する以下の取組に対して、500万円を上限に、最大３年間支援を行う。

ア　美さと児童園支援事業
　職場体験及び県外企業視察等の就労支援

イ　食と学びと働くを通した対策事業
　高校生等を対象に学習支援、フードバンクの取組、キャリア教育などの総合的な支援を通して学び直しやキャリア教育等を実施

ウ　子どもの暮らし応援事業
　困窮状態にある子ども等に、就労支援及び住居支援を実施し、貧困の連鎖を絶ち切る

2 普及啓発事業　（予算額 8,500千円／執行額 6,032千円　※振込手数料除く　）※うち6,500千円は県負担

⑴　**地域円卓会議の開催**（執行予定額 1,980千円 ）

関係者同士の連携推進、地域住民の参加意欲を促し、県民運動をより活性化させることを目的に３つのテーマで開催する。

⑵　**協働促進イベント**（執行予定額 172千円 ）

県民会議の構成団体等が主催するイベント等と連携して県民運動の取組や活動について周知・広報を行う。

⑶　**公式ホームページ等による情報発信**（執行予定額 775千円）

県民会議や県内での支援の取組等に関して、ＳＮＳ等を活用した広報や、動画を活用し広く情報を発信する。

⑷　**広報及び寄付活動**（執行予定額 2,993千円）

県民会議や子どもの貧困について広く啓発するチラシやパンフレット、動画等の制作を行うほか、新たな手法により寄付を募る。

1(1) 子どもに寄り添う給付型奨学金事業

令和元年度執行額 ： 14,395千円

〔事業概要〕

目的：児童養護施設等で暮らしている子どもたちが質の高い教育を受け、能力・可能性を伸ばしてそれぞれの夢に挑戦できるようにし、大学や専門学校等への進学の機会を提供し、貧困の連鎖を断ち切ること。

方法：**県民・協力団体・企業からの寄付金を原資**とし、大学や専門学校への進学を希望する子たちに対して給付型奨学金の支給を実施する。子どもが抱える問題を受け止め、子どもの実情に即した寄り添い支援を行う。

対象：**児童養護施設等を退所する者、里親等の委託措置を解除される者**

〔事業内容〕

1 奨学金の給付
　入学金と在学中の授業料の全額

2 進学後の寄り添い支援
　面談やお便り・交流会等

〔実績〕

応募者全員を給付内定者として決定！

H28：9名、H29：18名、H30：13名、R1：22名

●募集・選考・決定通知

●奨学金の給付

入学金と在学中の授業料全額

●進学後の寄り添い支援

面談やお便り・交流会等

お手紙で
近況報告

沖縄子どもの未来
県民会議

にじのはしファンド

協働事業

HP等で募集・案内・報告

寄付金を原資とした助成金

子ども達からの声を支援者へ

県民会議は、子どもの未来を創る団体の活動と協働で事業を実施し、子どもの貧困対策を県民運動として展開

沖縄県内の児童養護施設・ファミリーホーム・里親家庭出身者の大学・短大・専門学校等への進学＆資格取得を給付型奨学金でサポートしています

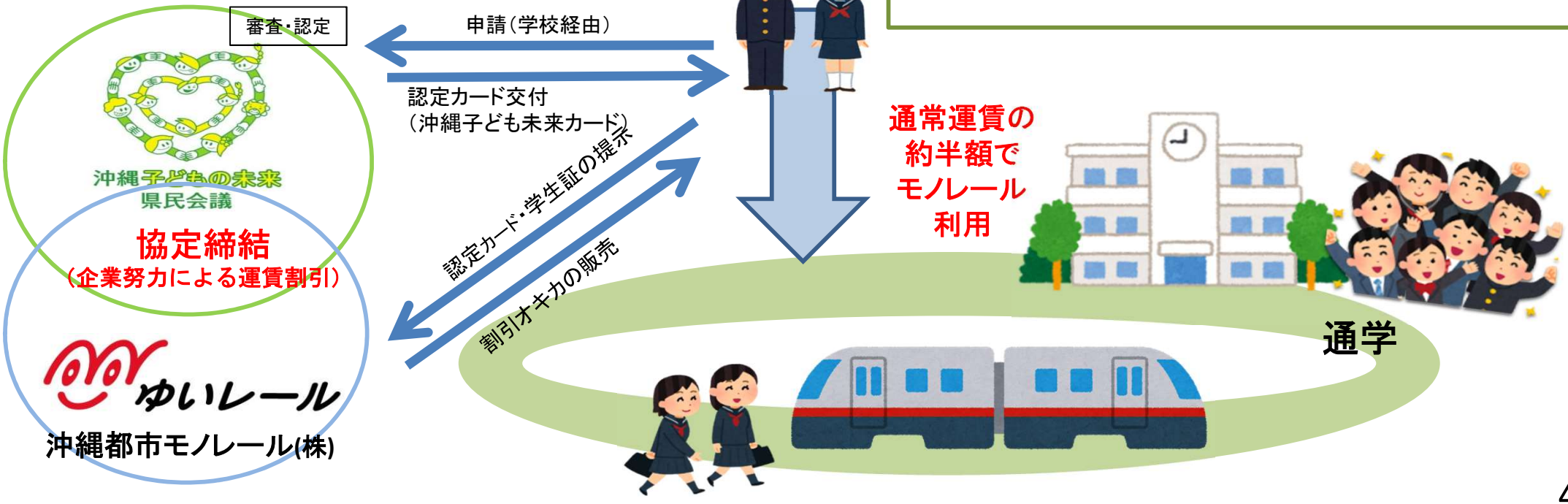
1(2) 沖縄県高校生等の通学費負担軽減措置（モノレール）

令和元年度執行額 ： 142千円

事業概要	沖縄都市モノレール株式会社の協力により、沖縄県内の高等学校等に在学する低所得世帯の高校生を対象に、通学に係るモノレール運賃を割引（通常運賃の約半額）する。
対象者	①沖県内の高等学校等に在学する高校生等であって、 ②申請の前年度に「沖縄県高等学校等奨学のための給付金の支給決定を受けた者」又は「市町村の就学援助」の認定を受けた者などの低所得世帯。

〔事業内容〕
1 通学に係る運賃の割引制度
モノレールの通常運賃の約半額で乗車

〔実績・効果〕 令和元年度
1 対象64校に申請書約1万部を配布
2 通年で約270人が割引オキカを使用



1(3)　子ども未来ジョイントプロジェクト助成事業①

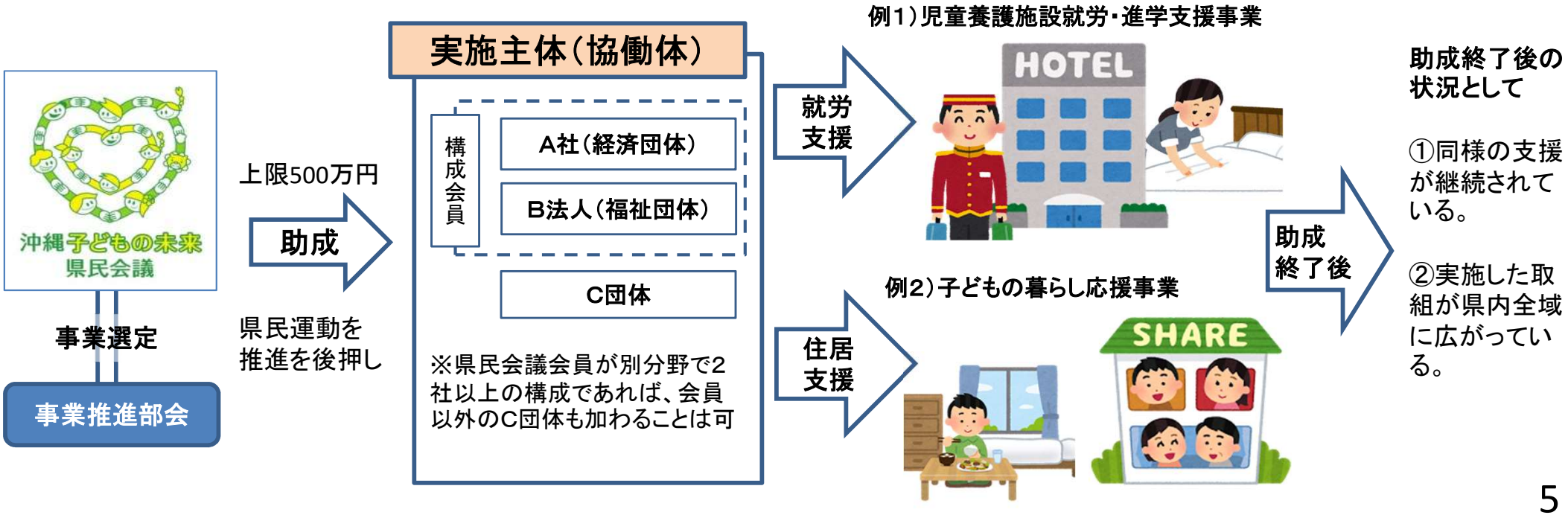
事業概要

令和元年度執行額　：　11,239千円

沖縄子どもの未来県民会議の構成会員がつながり協働して、経済的困難を背景に子どもの様々な機会が奪われることを低減するための取組に対して、500万円を上限に最長3年間にわたって支援する。

〔事業内容〕
1　県民会議の**構成会員が協働**して、子どもの貧困解消に資する事業を支援
2　終了後も継続できるような支援であることや、**子どもや保護者に直接届く支援であること**などの条件を付与
3　採択した事業に対し、**500万円を上限**に**最長3年間**にわたり助成金を交付

〔実績・効果〕 平成30年度
1　平成29年10月に助成決定した3事業について、2年目の取組を推進
2　協働事業者同士の取組から他の団体等とつながり、連携するなどの成果が表れている。



1⑶　子ども未来ジョイントプロジェクト助成事業②

令和元年度助成事業一覧（※平成29年度から令和元年度までの継続事業）

番号	プロジェクト名	協働事業者名	事業内容	令和元年度実施内容
1	美さと児童園支援事業 及び就職・進学支援事業	（株）KPG HOTEL & RESORT コザロータリークラブ	美さと児童園の子ども達に対して、働く意識の向上を目的に、パソコンスキル講習支援、就労体験や県外の企業視察等を行う。	①パソコンスキル講習 ②就学・進学の意見交換会 ③九州企業視察 ④関西企業視察 ⑤激励会
2	食と学びと働くを通した 子どもの貧困対策事業	NPO法人エンカレッジ NPO法人フードバンク セカンドハーベスト沖縄 （公財）沖縄県労働者 福祉基金協会	生きづらさを抱えている子どもや高校生、若者とその属する世帯に対して、“食”と“学び”と“働く”をキーコンセプトとして長期的な視点での支援を行う。	①学び：高校生塾における共同調理などの実施 ②食：県外から食品（約10トン）を輸送し提供 ③働く：就労観形成とキャリア教育等を展開（職業講話やセミナー開催）
3	就労・住居支援を伴う 子どもの暮らし応援事業	NPO法人沖縄青少年自立 援助センターちゅらゆい 沖縄県中小企業家同友会 （有）日建開発	貧困等を背景としている子どもに対して、働くから働き続けるまでをサポートする就労支援と、家庭から離れて共同生活を体験できる住宅支援を行う。	①住居支援（シェアハウス入居開始） ②職業講話（5回開催） ③職場体験・実習（10社実施） ④家賃補助等の基金「たくす」創設

（1　美さと児童園支援事業）

（2　食と学びと働く対策事業）

（3　子どもの暮らし応援事業）

その他の主な支援活動

事業概要

令和元年度執行額　：　0千円

民間企業等における子どもの学びと育ちを応援する活動を支援（仲介・広報等）することで、子どもの貧困を解消するための取組を推進する。当会議が支援（仲介・広報等）した主な取組は以下のとおり。

主な支援内容	支援先	備考
①　ＪＡファーマーズによる食料品の支援（青果など週１回）	子どもの居場所（１箇所）	H29年より継続
②　琉球放送（株）によるプロ野球観戦チケットの贈呈（200枚）	子どもの居場所（10箇所） ひとり親支援団体（18箇所）	H30年より継続
③　貧困家庭を対象にした無料サロンチケットの配布（約7000枚） 及び美容師育成事業の実施周知	子どもの居場所（約30世帯）	新規
④　沖縄銀行による外貨預金を活用した寄付制度の開始（知事表敬）	沖縄子どもの未来県民会議	新規
⑤　大相撲沖縄場所実行委員会による沖縄場所チケット贈呈（190枚）	ひとり親支援団体（７箇所）	H28年より継続
⑥　ＪＡ共済による食料品の寄贈（米や缶詰など640万円相当）	子どもの居場所（73箇所）	H28年より継続

〔実績・効果〕

１　民間企業の活動を後押しすることで、**約140団体以上**に支援を繋げた

２　複数回にわたり、**支援が継続**している　ほか、支援の内容も**拡充**している

2(1)　地域参加型の円卓会議の開催

事業概要

令和元年度執行予定額　：　1,980千円

沖縄県内において地域円卓会議を開催し、各地域で取り組んでいる関係者同士の連携推進や、地域住民の参加意欲を促し、県民運動をより活性化することで、子どもの貧困解消に向けた機運を高める。

実施状況

運営管理　みらいファンド沖縄（業務委託）

第1回　:これからの子どもの居場所は、どのような分野と連携するとより効果的な成果が出るのか？

■日　　時：令和元年11月7日（木）18:30-21:00
■場　　所：おきでんふれあいホール
■着席者数：5名（学識、居場所、社協、労働福祉団体、医療法人）
■来場者数：23名　※アンケート回答者内訳（福祉・医療45%,企業22%,行政11%,NPO・市民団体等11%,その他11%）

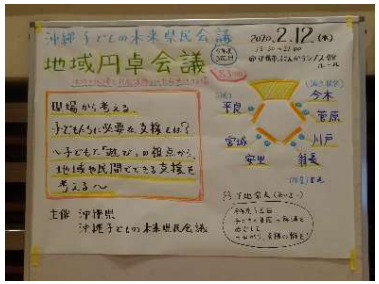
第2回　:子どもたちの体験活動の機会を確保するために民間でできる支援とは？

■日　　時：令和２年１月25日（土）13:30-16:00
■場　　所：沖縄産業支援センター　大ホール101
■着席者数：5名（学識、居場所、ホテル、社会教育施設（青少年）、公民館）
■来場者数：32名　※アンケート回答者内訳（NPO・市民団体等33%,行政17%,教育弛緩17%,企業17%,福祉・医療11%,学生5%）

第3回　:現場から考える、子どもたちに必要な支援とは？～子どもの「遊び」の視点から、地域や民間でできる支援を考える～

■日　　時：令和２年２月12日（水）18:30-21:00
■場　　所：那覇市ぶんかテンブス館ホール
■着席者数：6名（居場所２、学識、医療、公民館、マスコミ）
■来場者数：32名　※アンケート回答者内訳（福祉・医療45%,企業22%,行政11%,企業11%,NPO・市民団体等11%,その他11%）

〔実績・効果〕
1　来場者数 87名
2　来場者満足度 90.2%
3　円卓会議への参加をきっかけに
団体同士の連携促進にも繋がった



2⑵　協働促進イベント

事業概要

令和元年度執行予定額　：　132千円

沖縄県全体の気運を高め、子どもの未来に対する支援活動や寄付などを拡大していくことを目的に、構成団体等が主催する各種イベントと連携して子どもの貧困解消に向けた県民運動の取組や活動について周知・広報を行う。

実施状況

■事務局対応イベント数：　８回
■募 金 額 合 計 ：　249,552円
■ＤＶＤ配布枚数合計：　13枚

事務局の主な対応例

１．第４回チャリティ発表会

⑴　団体名：リナシメント（音楽教室）
⑵　開催日：令和元年５月19日（日）
⑶　場所：てんぶすホール
⑷　概要：音楽発表会
⑸　周知・広報内容：取組説明、募金ブースの設置、チラシ配布、ＤＶＤ紹介
⑹　募金額：80,038円
⑺　ＤＶＤ配布枚数：１枚

２．コープおきなわ総合推進フロア会

⑴　団体名：コープおきなわ
⑵　開催日：令和元年７月31日（水）
⑶　場所：コープおきなわ本部　組合員活動室
⑷　概要：コープおきなわの役員向け会議や組合員向けイベント支援の定例会
⑸　周知・広報内容：取組説明、チラシ配布、ＤＶＤ紹介、各店舗チラシの設置

３．ひとづくり委員会

⑴　団体名：沖縄経済同友会
⑵　開催日：令和元年10月11日（金）
⑶　場所：南西地域経済活性化センター大会議室
⑷　概要：ひとづくり委員会での講演
⑸　周知・広報内容：取組説明、チラシ配布

４．九州沖縄弁護士連合会　沖縄大会　子どもの貧困シンポジウム

⑴　団体名：沖縄弁護士会
⑵　開催日：令和元年10月25日（金）
⑶　場所：沖縄ハーバービュー
⑷　概要：子どもの権利の視点から貧困問題を議論するシンポジウム
⑸　周知・広報内容：取組説明、チラシ配布、募金ブース設置
⑹　募金額：25,235円
⑺　ＤＶＤの配布：２枚

５．第13回山里チャリティ祭り

⑴　団体名：山里チャリティ祭り実行委員会
⑵　開催日：令和元年11月３日（日）
⑶　場所：山里自治会
⑷　イベント概要：県民会議への寄付を目的としたチャリティ祭り
⑸　周知・広報内容：挨拶、チラシ配布、募金ブース設置
⑹　募金額：141,316円
⑺　ＤＶＤの配布：10枚

６．第13回九州・沖縄地区子ども支援ネットワーク交流学習会

⑴団体名：九州・沖縄地区子ども支援ネットワーク交流学習会実行委員会
⑵　日時：令和元年12月７日（土）
⑶　場所：教育福祉会館
⑷　イベント概要：学習会
⑸　周知・広報内容：挨拶、チラシ配布、募金ブース設置
⑹　募金額：2,963円

2(3)　公式ホームページ等による情報発信

令和元年度執行額　：　774千円

事業概要

公式のホームページやＳＮＳ等を活用し、県内各界の関係機関等が一体となった子どもの貧困解消に向けた県民運動の取組や県民会議の構成会員、ＮＰＯ法人等の支援活動等について広く情報を発信する。

実施状況

1　公式ホームページ（保守管理　電通沖縄＜業務委託＞）

(1)　県民会議の取組や関連イベント情報等を随時発信
(2)　寄付者、サポーター会員情報の更新
(3)　子ども支援団体の活動紹介の追加
(4)　その他コンテンツの充実
　（リアルレポートの更新、クレジットカード決済システム「GOEN」の導入など）

2　Facebook、Twitter（保守管理　電通沖縄＜業務委託＞）

(1)　県民会議の取組や関連イベント情報等を随時発信
(2)　イベントページの立ち上げ

〔実績・効果〕（※H31.4月～H31.12月末時点）

1　公式ホームページ
　ビュー：9,190（月平均約1,021）、掲載記事数23件
2　Facebook
　リーチ：6,312（月平均約701）、フォロワー数：422
　記事掲載数28件、ｲﾍﾞﾝﾄﾍﾟｰｼﾞ2件
3　Twitter
　エンゲージメント：1,240（月平均約138）、フォロワー数：199
　記事掲載数：26件

2⑷　広報及び寄付活動①

令和元年度執行額　：　40千円

事業概要

子どもの貧困解消の推進に向けた県民に対する普及・啓発活動として、DVD動画の制作、既存のポスターやパンフレット等の配布やパブリシティーを活用した広報活動を行うほか、県内の企業や各種団体、県外の沖縄県人会などに対する周知活動を実施する。

また、より効果的に沖縄の子どもたちの現状や県民会議の取組、寄付やサポーターの案内等について周知を図るため、新たなツールの制作やｗｅｂ広告などを活用するほか、企業の協力による寄付付き商品の販売など、新たな手法で寄付を募る取組も行う。

広報活動

内容	時期	備考
講演会等での呼びかけ（県内向け）	４～12月	各種講演会等にて県民会議の説明資料やリーフレットなどを配布（５回）
行政視察等での周知活動（県外向け）	４～12月	県外視察団等への説明（40件以上）
ニュースレター発行	令和元年12月　Vol.4	1,500部印刷（寄付者、サポーター会員、構成団体等に配布）
オリジナルLINEスタンプ第２弾制作	４～12月	販売個数40個
県の広報番組による取組紹介	11/16、11/17	うまんちゅひろば11月放送
「子ども応援ソングDVD」による広報及びCM動画制作	４～３月	知名定男氏、宮沢和史氏含む31名のアーティストと制作したDVDを活用した広報
県の広報誌による取組紹介	12月・１月・２月	美ら島沖縄12月号・１月号・２月号に掲載

2(4)　広報及び寄付活動②

寄付状況

（単位：円）

支援内容	令和元年度		累計金額	備　考
	当初計画	寄付額		
①　募金	26,030,000	24,740,329	133,276,911	企業210社、個人200名
②　サポーター会費	6,600,000	4,483,000	12,600,500	企業23口、個人249口
合　計	32,630,000	**29,223,329**	**145,877,411**	

主な寄付者一覧（令和元年度）

大口寄付者　（単位：円）

金秀グループ	1,295,363
一般社団法人沖縄県測量建設コンサルタンツ協会	300,000
沖縄協同ガス株式会社	342,600
計	1,937,963

その他　（単位：円）

相続寄付	4,291,969

イベント関係　（単位：円）

サザン会（フォーク&ロックコンサートでの募金）	330,000
ソニードギター合奏団（定期演奏会での募金）	339,828
琉球セメント株式会社（60周年記念）	5,000,000
山里自治会（チャリティ祭り）	141,316
沖縄銀行（チャリティーバザー）	100,000
MS1880（チャリティーオークション）	205,000
計	6,116,144